

2014 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ募集のお知らせ

会誌編集委員会
デジタルプラクティス編集委員会

会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」をより良くするために編集委員一同努力を続けておりますが、会員の方々の評価や希望をうかがい、今後の改善に役立てるために、モニタ制度を設けております。

関心のある方はぜひふるってご応募ください。

応募の資格 本会員で、モニタの役割を積極的に果たしていただける方。

モニタの役割 「情報処理」および「デジタルプラクティス」巻末の所定用紙または学会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) から、毎月アンケートに回答する。

- ・記事に対する評価
- ・記事に対する感想・意見
- ・記事テーマの提案
- ・そのほか全般的な意見・提案など

注) 記事をすべて読むといったことは必ずしも必要ではありません。自分の立場や問題意識、得意とする分野などを基準とした「独断と偏見による」自由な意見を期待します。

期 間 原則として1年間(2014年4月～2015年3月)。*最長3年までとします。

対 象 号 会誌「情報処理」55巻5号～56巻4号、および年に4回発行される「デジタルプラクティス」

謝 礼 貴重なご意見をいただいた方には薄謝または記念品を贈呈します。

募集人員 特に定めませんが、応募者数によっては当委員会で調整させていただくことがあります。

応募締切 2014年2月28日(金) 必着 *申込書を Fax するか、または E-mail でお申し込みください。

申込/照会先 情報処理学会 会誌編集部門(モニタ係)

2014 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ申込書

宛先: 情報処理学会 会誌編集部門(モニタ係)

E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

氏 名

会員番号 ()

住 所 〒

所 属

E-mail:

Tel () -

Fax () -

年 齢 (歳)

業種: (a) 企業(サービス業) (b) 企業(製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関(大学・高専など) (e) 学生 (f) その他

職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務 (f) 会社経営・役員・管理職
(g) 教員(大学・大学院) (h) 教職員(小・中・高校・高専など) (i) 学生 (j) その他

各賞表彰(概要)

詳細は Web サイト (http://www.ipsj.or.jp/award/sho_index.html) をご覧ください

2013 年度ソフトウェアジャパンアワードの表彰

本会では 2004 年度から毎年産業界向けのイベントとして「ソフトウェアジャパン」を開催しており、同イベントにおいて、日本発の世界に誇るソフトウェアの研究者、開発者、技術者で、情報技術分野において特に産業界への功労がありその業績が顕著であると共に、今後の産業界への活躍が期待できる方へ「ソフトウェアジャパンアワード」を贈呈しております。本アワードは、昨年度までは本イベントのローカルアワードとして贈呈をしていましたが、今年度より学会からの賞として贈呈することが第 582 回理事会（2013 年 6 月）で承認されました。

本年度の受賞者は、技術応用運営委員会、IT フォーラム推進委員会、当該ソフトウェアジャパンプログラム委員会、ソフトウェアジャパン実行委員会の各委員および情報処理学会フェローから推薦された候補者のうち、表彰規程およびソフトウェアジャパンアワード選定手続きに基づき、選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認（2013 年 11 月 25 日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる）を得て、下記 2 君に決定されました。

受賞者には、本会表彰規程により、ソフトウェアジャパン 2014 において、表彰状、副賞および賞金が授与される予定です。

- 「先進的プログラミング言語理論の研究・開発と普及」
住井英二郎君
- 「仮想プライベートネットワークソフトウェアの開発とその事業化」
登 大遊君

ソフトウェアジャパン 2014 は以下で開催予定。

- ・ 会議名称：ソフトウェアジャパン 2014
「アイドル総選挙からセキュリティまで～ビッグデータの今」
- ・ 開催日時：2014 年 2 月 4 日（火）9：30～18：30
- ・ 開催会場：タワーホール船堀
- ・ <http://www.ipsj.or.jp/event/sj/sj2014/>



協力協定学会との正会員会費相互割引について

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。
本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/member/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・相互割引率（正会員会費が割引対象）

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10%
ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
CSI	(Computer Society of India)	20%

※ 協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (<http://www.ipsj.or.jp/annai/kanrenlink/kaigaikanren.html>) をご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本会への申請方法

会費割引を希望する正会員は、次のフォームから申請してください。8 月以降の申請は次年度会費を割引します。

正会員会費割引申請フォーム (<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-seikaiin-kaihiwaribiki.html>)

初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーを Fax 等で送ってください。割引適用は 1 学会分といたします。

※ これから入会を希望する方も同様に申請できます。入会申込書（正会員）(https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai_sei.html) をご確認ください。

■照会先：会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375



【特集：教育とコンピュータ】

- 特集「教育とコンピュータ」の編集にあたって 角田博保
- データベース操作の学習が可能なオンライン学習教材の提案 長瀧寛之 他
- 動機づけと達成度を保証するためのプログラミング入門科目の設計 佐々木晃 他
- エージェントを介させたロールプレイ演習によるプロジェクトマネジメント教育 中村太一 他
- 小学校低学年を対象とした基本的な生活習慣の教育を支援する情報システム 橋渡亮太 他
- De-gapper- プログラミング初学者の段階的な理解を支援するツール 長 慎也 他
- ビジュアル-Java 相互変換によるシームレスな言語移行を指向したプログラミング学習環境の提案と評価 松澤芳昭 他
- オブジェクト指向モデリング教育におけるモデル駆動開発ツールの活用方法の検討 赤山聖子 他
- 新しい研究室配属方法の提案（成績順位と配属希望を切り替え可能な配属方法）† 北脇知己
- Requirement Analysis of Computing Curriculum Standard J07 and Japan Information Technology Engineers Examination using ICT Common Body of Knowledge Tetsuro Kakeshita 他
- e テスティングにおける LDA を用いた項目間類似度の算出 高木輝彦 他
- 柔軟な協調学習環境を実現する学習管理システム用モジュールの開発と実践 石井嘉明 他

【特集：社会活動に協調する技術とネットワークサービス】

- 特集「社会活動に協調する技術とネットワークサービス」の編集にあたって 関 良明
- モバイル端末における板書講義映像の表示手法の提案 佐藤雄一 他
- 業務の引継ぎを容易にするスケジューラ連動型組織知識継承基盤 斉藤典明 他
- 協調検索を対象としたダイナミックグループコラボレーション環境におけるグループ間ウェアネス機能 伊藤直人 他
- 空間位置に対応したデジタル情報を表示可能なハイパーパネルシステムの提案 鈴木 浩 他
- 議論での事前学習知識の活用を促す対面型協調学習支援システム 羽山徹彩 他
- 高齢者の柔軟な時間就労のための時間 Mosaic 形成支援システム 中山真里 他
- 協調学習における非言語情報に基づく学習態度の可視化 林 佑樹 他
- タスクボードとオンラインストレージを用いたソフトウェア開発 PBL のためのタスク記録支援環境の構築 高先修平 他
- Efficient Information Dissemination and Reputation Aggregation for User Centric Media Utilizing the Circular Board Method Yoshio Sakurauchi 他
- 情報セキュリティ行動をツイートする情報共有手法の提案と受信者の情報接触行動の考察 原 賢 他
- 企業内 SNS 導入に関する利用者調査 加藤菜美絵 他
- 近隣住民間での食材の物々交換での交換相手に関する不確実性が与える影響 才野仁史 他
- 参加者の議論能力に注目したオンライン議論のモデル化と分析

- ～ Wikipedia の議論ページにおける分析～ 朱 成敏 他
- 日本語版・中国語版 Wikipedia を用いた文化差検出手法の提案 諏訪智大 他
- スマートデバイスにおける利用環境に応じた機能制御機構の提案とその考察 佐藤亮太 他
- 位置フィンガープリントの自動更新を用いた電波環境変化に頑健な屋内位置推定手法 谷内大祐 他
- 処理の動的分割再配置により負荷分散を実現する Publish/Subscribe システム 福井達也 他
- コンテンツ保護機構を備えたインターネット生放送システムの実現可能性の評価 津田 侑 他
- 青少年の安全なインターネット利用を実現する家庭の取組みに関する考察 千葉直子 他

【特集：社会と共に絆を支える高度交通システムとモバイル通信】

- 特集「社会と共に絆を支える高度交通システムとモバイル通信」の編集にあたって 清原良三
- バッテリーレス無線センサネットワークと省メモリ型データ収集プロトコル 猿渡俊介 他
- スマートフォンの無線 LAN 接続時における周辺端末からの情報に基づく協調帯域制御ミドルウェアの提案と実装 平井弘実 他
- アブストラクト干渉モデルによる大規模 ITS 無線システムシミュレーションの高速化* 金田 茂 他
- 無線 LAN 環境特異点に基づくゲート通過検出手法* 梶 克彦
- Wi-Fi 位置計測のための計測エラー検出および修正手法 津田祐輝 他
- 都市区画における GPS 衛星の見通し判定を用いた位置精度向上法の提案 内山 彰 他
- スマートフォンを用いた歩行時心拍数推定法 隅田麻由 他
- 同行者に応じたトピックモデル 深澤佑介 他
- 地図データを利用した燃料消費予測手法の大型作業車両への適用* 川股幸博 他
- 時間的交通分散を目指した旅行計画提示手法の提案 赤嶺有平 他
- GPGPU-Assisted Subpixel Tracking Method for Fiducial Markers Naoki Shibata 他
- 変分ベイズ法にもとづく部分的データによる人流分布推定方式 浅原彰規 他
- 先急ぎ運転の得失分析システムの開発と一分析 林 政喜 他
- online/offline 相互認証方式を用いた路車間通信システム 安藤英里子 他

【一般論文】

- 迂回路付き完全網 PC クラスターの試作と評価 福永隆文
- モバイルインターネット環境に適した遠隔 DLNA 通信システムの提案* 清水皓平 他
- 停止するユーザの移動経路に基づいた位置プライバシ保護のためのダミー生成手法* 加藤 諒 他
- 行動の順序制約を用いた加速度データのラベリング手法* 村尾和哉 他
- 人間とデバイスの感度の違いを利用した撮影画像からの顔検出防止手法* 山田隆行 他
- 多くの画像が共有する「一般クラス」に着目した訓練画像の選択† 加藤ジェーン 他

- Markov Chain Monte Carlo for Arrangement of Hyperplanes in Locality-Sensitive Hashing Yui Noma 他
- テキストからの表現豊かな音声合成の為の句末上昇ラベル予測における句末コンテキストの利用 中嶋秀治 他

- 人間による訂正情報に着目した流言拡散防止サービスの構築* 宮部真衣 他
- * : 推薦論文 Recommended Paper
- † : テクニカルノート Technical Note



論文誌トランザクション掲載論文リスト (Jan. 2014)

【Transactions on Bioinformatics Vol.7】

- Discrimination of Symbiotic/Parasitic Bacterial Type III Secretion System Effector Proteins using Principal Component Analysis Yuuichi Nakano 他

- 数削減アルゴリズム 中村あすか 他
- CUDA によるランダムスパース方程式求解の命令レベル並列性を用いた高速化手法 富永浩文 他
- Accumulative Computation on MapReduce Yu Liu 他

【論文誌 プログラミング Vol.7 No.1】

- タスクスケジューリング問題の厳密解求解における探索ノード

IPSJ MAGAZINE

Vol.55 No.2 (Feb. 2014)

CONTENTS

Preface

- Our Future Society with Robotic Media**
Hiroshi ISHIGURO (Osaka Univ. / ATR Hiroshi Ishiguro Lab.)

Special Features

Perspective on Service Science from Systems Science and Informatics

- 124 **0. Foreword**
Takao TERANO (Tokyo Institute of Technology)
- 126 **1. System Science Researches for Service Science, Management, Engineering, and Design**
Kyouichi KIJIMA, Hiroshi DEGUCHI and Takao TERANO (Tokyo Institute of Technology)
- 132 **2. Systems Thinking : A Service Science Perspective**
Haluk DEMIRKAN (Univ. of Washington Tacoma) and Jim SPOHRER (IBM Almaden Research Center)
- 140 **3. Service Chain and Service Systems Business**
Hiroshi DEGUCHI (Tokyo Institute of Technology)
- 148 **4. Future Session Approaches to Design Service Systems**
Takahiko NOMURA (Future Sessions Inc. / Kanazawa Institute of Technology) and Dainichiro KAKEI (Future Sessions Inc. / Keio Univ.)
- 155 **5. Considerations on Future Urban Public Services - Example of Hakodate SmartCity Project -**
Hitoshi MATSUBARA and Hideyuki NAKASHIMA (Future Univ. Hakodate)
- 161 **6. Community Based Participatory Service Engineering - Finding from Kesenuma Kizuna Project -**
Yoichi MOTOMURA (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)

Articles

- 168 **Preservation of Historical Computer Systems : Computer Zoo**
Hisanobu TOMARI and Kei HIRAKI (The Univ. of Tokyo)
- 176 **Knowledge to be able to See from Information Technology Dispute**
Yoshihiro HOSOKAWA (CNI IT Advisory Service)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 167 **The Beginning of My Digital Studies**
Shuzo YAJIMA (Kyoto Univ.)

Series : Recent Trends of ICT Application to Railway Operation and Signaling Systems

- 184 **Big Data in Railways - How to Utilize the Train Traffic Record Data and the Historic Data of Route Search Service**
Norio TOMII (Chiba Institute of Technology) and Kohei OTA (NAVITIME JAPAN Co., Ltd.)

"Peta-gogy" for Future

- 193 **Promotion of the Use and Application of Big Data and Human Resource Development for Data Scientists**
Kazuo ISHII (Tokyo Univ. of Agriculture and Technology)
- 194 **Education Network for Practical Information Technologies enPiT**
Katsuro INOUE, Shinji KUSUMOTO (Osaka Univ.), Atsuhiko GOTO (Institute of Information Security), Naoyasu UBAYASHI (Kyushu Univ.) and Hiroyuki KITAGAWA (Univ. of Tsukuba)

- 198 **Biblio Talk**

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、11月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず特集「プライバシーを守ったITサービスの提供技術」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■匿名性を完全に守ることはできないと考えている。本当に漏らさないようにするには、どんな手続きにも応じないことだが、それは不可能であり、自分が被害にあうレベルでなければ、ある程度の匿名性が阻害されてもやむを得ないと思うべきかもしれない。(匿名希望)

■ネットワークサービスを構築していく上でセキュリティとユーザのプライバシーを守っていかなければいけないのは必然で、前者は認知されているが、後者はそうでない気がする。(匿名希望)

■IT技術で便利になる反面、アプリケーションがプライバシーの領域に踏み込みすぎてしまう危険性は常にあると思う。その注意を喚起するためにも、良い特集であったと思う。(匿名希望)

■プライバシー問題に関する技術課題は個人的に興味があり、非常に面白く読めた。(石井一夫)

■プライバシー・個人情報保護の世界における日本の状況が垣間見ることができ、参考になった。(匿名希望)

■今月のプライバシー関連技術の特集は、企業が直面している課題の1つに対する今後の技術方向性の知見が得られるという点で有用だ。(匿名希望)

■クラッカーによる個人情報流出攻撃の対象とされたさまざまなWebサービスに関する最近のニュースを思い出しながら、今号の特集記事の知見が早く実用に結びつけば良いと思った。(佐伯嘉康)

連載「ビブリオ・トーク：Paul Graham：ハッカーと画家」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■面白そうです。専門家の方々の思い入れを含めた色々な書籍の紹介が読めることを期待しています。(匿名希望)

シニアコラム「IT好き放題：天国に行くには？」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■内容が情報処理にも情報処理学会にも、あまり関係ないように感じられた。(匿名希望)

解説「「おねえさんの問題」の最先端」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■とても興味を持って読めました。これからも、このような、身近な話と先端研究との関連のような話を取り上げてもらえると、興味深く読めると思います。(匿名希望)

■面白く分かりやすかった。大学でアルゴリズム解析の分野の研究をずっとしていたが、こういう、単純な命題ほど複雑で、素人のおねえさんから導かれるアルゴリズムが、画期的なものとして発見されるケースはいくつもあるのではないかと。普段の生活に目を向ければ、まだまだたくさん出てきそうな気がした。(匿名希望)

■「おねえさんの問題」のビデオは見たことがあるが、どのような経緯で作成されたか、意図なども含めて書かれていたので面白かった。(匿名希望)

連載「鉄道の運行システムにおける情報処理技術の動向：鉄道のダイヤ乱れ時への対応<その1>」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■風雪があると必ずと言っていいほどダイヤが乱れ、時には不可解な対応をとるためにいららさせられる経験があることから、興味深く読むことができた。特に、乗客から見れば不可解な対応に思えることにも、しかるべき理由があって、それに即した対応を適切にとっていることがよく分かった。(匿名希望)

■興味をそそられた。代替機関の手配・管理までを100% 行うのはかなり難しい。台風等の天候不順でも、瞬時に対応してリカバーするのは大変だ。現在の数時間遅れや、丸1日運休の事象が、考えられた最善の結果だとするとまだまだ綿密に計算して遅延を解消する手立てはあるのではないかと思う。

(匿名希望)

■専門家ではないが、とても興味深い。これからの連載を楽しみにしている。

(匿名希望)

■期待します。遅れが発生したとき、ダイヤを調整するのは今も人とは驚きました。

(匿名希望)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただきました。

■毎回、新たなテーマを取り上げていただき、非常に参考になっております。

(匿名希望)

■特集以外の記事が非常に良かった。「特集」のタイトルがあるのだから、労力をかけて分らせる工夫をしてほしい。

(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■海外で活躍する若手研究者の特集をしてほしい。
(平井辰典)

■巻頭コラムに海外の方を呼んでみるのはいかがでしょうか。
(匿名希望)

■医療従事者教育について書いてほしい。
(匿名希望)



【本欄担当 尾張正樹, 東本崇仁/会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらをご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想, 意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見, 提言
- ・その他, 情報処理技術についての全般的な意見, 提言

など自由なご意見, ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており, いただいたご意見をまとめております。

※ ご意見, ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては, 編集の都合上, ご意見に手を加えさせていただくことがありますので, あらかじめご了承ください。なお, 意見の投稿に伴う, 住所, 氏名, 所属などの個人情報については, 学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

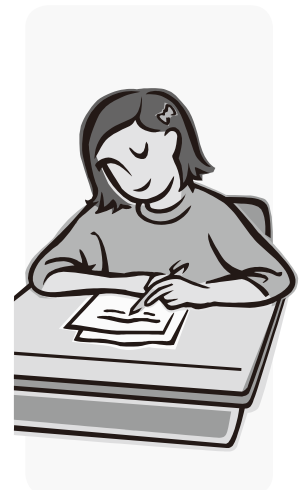
応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F

情報処理学会 会誌編集部門

E-mail : editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375

<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	デジタルプラクティス「モバイル時代のサービス」特集論文募集 http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0504s.html	2月5日(水)		
	論文誌「ゲームプログラミング」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-K.html	2月21日(金)		
	東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj-tokai.jp/jigyuu/happyou/index.html#syorui	2月28日(金)		
	東海支部平成25年度学生論文奨励賞募集 http://www.ipsj-tokai.jp/	3月15日(土)		
	論文誌「洗練された社会を作り上げるモバイル通信と高度交通システム」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-C.html	3月31日(月)		
	論文誌「新しい時代に向けて英知を結集するコラボレーション技術とネットワークサービス」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-E.html	4月1日(火)		
	論文誌「ユビキタスコンピューティングシステム(IV)」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-F.html	4月25日(金)		
	論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-D.html	5月8日(木)		
1月14日(火)～	第97回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro97.html	11月15日(金)	当日のみ	松山市総合コミュニティセンター
1月15日(水)～	第156回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci156.html	11月22日(金)		下呂温泉小川屋
1月16日(木)	※今回の研究会は宿泊形式で開催するため、発表および参加には参加申込(宿泊申込)が必要となります			
1月23日(木)	第173回知能システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics173.html	11月30日(土)	当日のみ	国立情報学研究所
1月23日(木)～	ウィンターワークショップ2014・イン・大洗 http://oss.sys.wakayama-u.ac.jp/wws2014/			大洗ホテル
1月24日(金)	第190回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim190.html	11月1日(金)	当日のみ	大阪大学 豊中キャンパス
1月23日(木)～	第200回計算機アーキテクチャ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc200.html	11月22日(金)	当日のみ	東京工業大学
1月23日(木)～	第90回GN・第9回CDS・第6回DCC合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn90cds9dcc6.html	12月5日(木)	当日のみ	和歌山大学 南紀熊野サテライト
1月24日(金)	高度交通システム2014シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/sig/its/		定員になり次第	日本青年館ホテル
1月25日(土)	第101回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch101.html	11月25日(月)	当日のみ	同志社大学 今出川キャンパス
1月28日(火)～	第164回システムLSI設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm164.html	11月15日(金)	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
1月29日(水)～	第146回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al146.html	12月11日(水)	当日のみ	函館市民会館
1月31日(金)～	第100回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp100.html		当日可	伊豆長岡 ホテル サンバレー富士見
2月1日(土)	※宿泊形式で開催するため、宿泊申込が必要となります。			
1月31日(金)～	第12回教育学習支援情報システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cle12.html	12月24日(火)	当日のみ	明治大学 国際総合研究所
2月1日(土)	ソフトウェアジャパン2014 「アイドル総選挙からセキュリティまで～ビッグデータの今」 http://www.ipsj.or.jp/event/sj/sj2014/index.html		1月27日(月) 定員になり次第	タワーホール船堀
2月6日(木)～	第215回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl215.html	12月20日(金)	当日のみ	国立情報学研究所
2月7日(金)	第113回情報基礎とアクセス技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ifat113.html	1月13日(月)	当日のみ	キャンパスプラザ京都 第1会議室
2月8日(土)～	第123回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce123.html	12月19日(木)	当日のみ	大阪電気通信大学
2月9日(日)	第154回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg154.html	12月6日(金)	当日のみ	理化学研究所
2月21日(金)	第84回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm84.html	12月20日(金)	当日のみ	沖縄県男女共同参画 センター「ていりる」
2月21日(金)	第63回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eip63.html	12月16日(月)	当日のみ	神戸学院大学
2月23日(日)～	第102回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus102.html	12月25日(水)	当日のみ	筑波大学 東京キャンパス
2月24日(月)～	第24回インターネットと運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot24.html	12月10日(火)		山代温泉 瑠璃光
2月27日(木)～	インタラクション2014 http://www.interaction-ipsj.org/2014/index.html	11月25日(月)		日本科学未来館
3月1日(土)	第143回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc143.html	12月26日(木)	当日のみ	和倉温泉 あえの風
3月3日(月)～	第191回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim191.html	1月8日(水)	当日のみ	東京大学

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
3月3日(月)～ 3月4日(火)	第97回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps97.html	1月8日(水)	当日のみ	タウンプラザしまね
3月3日(月)～ 3月4日(火)	第147回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al147.html	1月16日(木)	当日のみ	中央大学 後楽園キャンパス
3月6日(木)～ 3月7日(金)	第158回マルチメディア通信と分散処理・ 第64回コンピュータセキュリティ合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps158csec64.html	1月10日(金)	当日のみ	明治大学 中野キャンパス
3月6日(木)～ 3月7日(金)	第128回システムソフトウェアとオペレーティング・ システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os128.html	1月17日(金)	当日のみ	富山市民プラザ
3月11日(火)～ 3月13日(木)	情報処理学会 第76回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/76/	1月14日(火) 12:00迄	2月21日(金)	東京電機大学 東京千住キャンパス
3月14日(金)～ 3月15日(土)	第124回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce124.html	1月23日(木)	当日のみ	東京学芸大学
3月15日(土)～ 3月16日(日)	第165回システムLSI設計技術・ 第32回組込みシステム合同研究発表会 (ETNET2014) http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm165emb32.html	1月13日(月)	当日のみ	ICT文化ホール
3月17日(月)～ 3月18日(火)	第127回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is127.html	1月18日(土)	当日のみ	法政大学 市ヶ谷キャンパス
3月19日(水)～ 3月20日(木)	第183回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se183.html	1月29日(水)	当日のみ	化学会館 会議室
3月27日(木)～ 3月28日(金)	第8回セキュリティ心理学とトラスト研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/spt8.html	1月10日(金)	当日のみ	名桜大学 (沖縄県名護市)
9月3日(水)～ 9月5日(金)	FIT2014 第13回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2014/index.html	4月16日(水): 査読付き 5月22日(木): 一般		筑波大学 筑波キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 12月15日 2014年就職情報を公開しました
- 12月15日 人材募集情報 (Vol.55 No.1)
- 12月15日 2014年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ募集
- 12月15日 会誌「情報処理」Webカタログ (Vol.55 No.1)
- 12月11日 「達成度テスト」における情報科試験採用の要望
- 12月09日 短期集中セミナー 2013「Exciting Coding! 2013～ITスペシャリストが語るクラウドシステム/アプリ開発の面白さ～」資料を公開しました
- 12月05日 論文誌「ユビキタスコンピューティングシステム (IV)」特集論文募集
- 12月03日 論文誌「新しい時代に向けて英知を結集するコラボレーション技術とネットワークサービス」特集論文募集

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書に記載する「宛名」、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿〔募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先〕を添えて下記の申込先へ、E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円(税込)

賛助会員(企業) 31,500円(〃)

賛助会員以外の企業 52,500円(〃)

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門(有料会告係) E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

***特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと**

■福岡工業大学情報工学部情報工学科

募集人員 教授または准教授 1名
 専門分野 情報工学(人工知能)または関連分野
 学 科 目 知能情報メディア工学
 担当科目 人工知能応用、情報工学実験、情報基礎ゼミナール等
 応募資格 専門分野のうち、特に学科目に関連ある分野で教育・研究業績があり、以下の項目に該当する方
 1)博士の学位を有する方、2)大学院の教育・研究指導を担当可能な方、3)教育経験のある方が望ましい
 着任時期 2014年10月1日
 提出書類 ①履歴書(学歴、職歴、学会および社会における活動)、②研究業績表(著書、学術誌論文(査読付き)、国際会議論文、その他論文を区別して記載)、③主要論文別刷(5編程度)、④これまでの研究概要と今後の研究計画、⑤本学における教育研究に対する抱負、⑥応募者の状況を説明できる方2名の氏名・所属・連絡先
 ※紙での提出に加え、電子ファイル等のデジタルデータをUSBメモリまたはCDでも提出してください。ただし、③は除く
 応募締切 2014年5月9日(必着)
 送付先 〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 本行義洋 Tel(092)606-0647 Fax(092)606-7310
 「情報工学科教員人工知能応募書類在中」と朱書き簡易書留 *原則として、応募書類は返却いたしませんのでご了承ください
 照会先 情報工学科 教授 徐 海燕 E-mail: xu@fit.ac.jp Tel(092)606-4892 Fax(092)606-1342



FIT2014 第13回情報科学技術フォーラム 査読付き論文・一般論文 講演募集予告

会 期：2014年9月3日（水）～5日（金）

会 場：筑波大学 筑波キャンパス（つくば市天王台1-1-1）

FIT2014 Web ページ <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2014/>

査読付き論文受付期間(予定)：2014年3月5日(水)～4月16日(水)
一般論文 受付期間(予定)：2014年4月23日(水)～5月22日(木)

- ◆論文ページ数：2～8ページ程度 ◆講演時間：20分
- ◆3ページ目以降はエクストラページ料金（4,000円/ページ）が必要です

電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ (ISS) 並びにヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) と情報処理学会 (IPSJ) とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2014年9月には第13回目を筑波大学で開催します。

本フォーラムは、両学会の大会の流れをくむものですが、従来の大会の形式にとらわれずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。

また、FIT2013より一般発表のセッションごとに座長の裁量で優秀な発表を1件選定（該当なしもあり）する「FIT 奨励賞」を創設致しました。

皆様の研究成果発表の場として、標記のとおり論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

●論文誌への道！ 「FIT 査読付き論文」論文誌推薦制度（6～8ページ程度）

FIT では、情報分野のより一層の活性化を目的として、「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を FIT として情報処理学会または電子情報通信学会の論文誌へ推薦する制度がございます。

「FIT 査読付き論文」の申込とあわせて「論文誌への推薦希望」も受け付け致しますので、ご希望の方は、Web からの講演申込みの際に「論文誌への推薦希望」欄にチェックを入れて下さい。論文誌へ推薦されるためには、完成度の高い論文であることが求められます。論文誌への推薦可否結果は、2014年6月20日に推薦を希望された皆様にお知らせする予定です。本制度を利用し是非チャレンジして下さい。

※論文誌掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定致します。

●申込主要日程（予定）

※査読付き論文と一般論文では、登録申込/投稿受付開始時期が異なりますので御注意下さい。

■査読付き論文

登録申込/投稿受付開始：2014年3月5日（水）
登録申込締切/査読用原稿の投稿締切
：2014年4月16日（水）
査読の採否結果通知：2014年6月20日（金）
論文誌への推薦可否結果通知(推薦希望者のみ)
：2014年6月20日（金）
最終掲載投稿締切：2014年6月30日（月）

■一般論文

登録申込/投稿受付開始：2014年4月23日（水）
登録申込締切：2014年5月22日（木）
最終掲載原稿：2014年6月30日（月）

※登録申込と原稿投稿は、上記のFIT2014Webページよりお願い致します。

※登録申込、原稿投稿要領の詳細は、決定次第 FIT2014Web ページでお知らせ致します。

●査読付き論文（4～8ページ程度）

査読付き論文は、FIT 設立に伴い新たに導入された企画です。

査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大 8 ページ程度に制限緩和された論文ページ数を活用して下さい。また、採録された論文の中から、査読会議において各分野の応募総数の 5%を上限として優秀な論文を推薦、その中から船井ベストペーパー賞 3 件程度、FIT 論文賞 7 件程度を選定し、表彰式 (FIT2014 会期中) にて表彰致します。船井ベストペーパー賞受賞論文には船井情報科学振興財団より賞金 20 万円、FIT 論文賞受賞論文には FIT 運営委員会より賞金 5 万円を贈呈します。皆様、是非ともチャレンジして下さい。

なお、査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います（一般論文発表となります）。

※一部の研究分野では査読付き論文の募集を致しません。査読付き論文の募集を行う研究分野については、Web ページを御覧下さい。

●一般論文（2～8ページ程度）

当該 FIT での発表件数の 1.5%を上限として、2014年12月31日現在で 33 歳未満の講演者（査読付き論文および一般論文）を対象に優れた発表を選定し、ヤングリサーチャー賞（賞金 3 万円）として FIT2015 の表彰式で贈呈します。

●問い合わせ先（FIT2014幹事学会）

105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内

電子情報通信学会 大会・研究会部 TEL. [03] 3433-6691 FAX. [03] 3433-6659 E-mail:ieicefit@ieice.org

ご意見をお寄せください！

【2月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）
(e) 学生 (f) その他 4- []
- (5) 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（大学・大学院） (h) 教職員（小・中・高校・高専など）
(i) 学生 (j) その他 5- []
- (6) 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別： (a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8) あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ 8- []
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- (10) 今月号（2014年2月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]

巻頭コラム：ロボットメディアの将来.....	10-1- []
特集：システム科学・情報学から見たこれからのサービスサイエンス	
1. サービスのためのシステム・サイエンス	10-2- []
2. SYSTEMS THINKING：A SERVICE SCIENCE PERSPECTIVE	10-3- []
3. サービスチェーンと仕組みビジネス	10-4- []
4. サービスシステムをデザインするフューチャーセッション・アプローチ	10-5- []
5. これからの都市型公共サービスを考える	10-6- []
6. 現場参加型サービス工学	10-7- []
IT好き放題：私のデジタル事始め.....	10-8- []
歴史的計算機の動態保存から得られる知見.....	10-9- []
IT紛争の事例とそこから見える問題点・知見.....	10-10- []
鉄道の運行システムにおける情報処理技術の動向：鉄道におけるビッグデータの活用.....	10-11- []
べた語義：ビッグデータ活用促進とデータサイエンティスト人材育成.....	10-12- []
べた語義：実践的情報教育協働ネットワーク enPIT	10-13- []
ビブリオ・トーク：数理最適化の実践ガイド.....	10-14- []

[11] 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- [11-1] 良かった記事 11-1- []
- [11-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []
- [11-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）..... 11-3- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

[12] 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- [12-1] 良くなかった記事 12-1- []
- [12-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
- [12-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）..... 12-3- []
- a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりな内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に下記にご記入ください）

〔13〕 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

〔13-1〕 システム科学・情報学から見たこれからのサービスサイエンス：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []

〔14〕 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

〔15〕 会誌に対するご意見やご感想、著者への質問、巻頭コラムに登場してほしい人物、今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。
(スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください)

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、論文誌（デジタルプラクティス）、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル／トランザクション／JIP）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、国際会議、IFIP委員会
■ 事業部門			
事 業	jigy@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続 세미나、プログラミング・シンポジウム
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IP SJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/	

「情報処理でサービスサイエンスの特集をやるのですか？ え、ええ、ゲストエディタを務めてもいいですが、ほかの学会の解説と差別化するのはすごく難しいですよ…」といった会話をしたのがほぼ1年前でした。ちょっと思いつくだけでも、実際、人工知能学会誌、OR学会誌や、サービス学会、JST/RISTEXなどで、いろいろな解説や研究プロジェクトの報告を読むことができます。悩んだ末に「システム科学・情報学から見た」というキーワードをつけて企画を通していただいたのが昨年5月、いろいろなネゴシエーションの後、記事の執筆をお願いできたのが昨年8月でした。

ごくごく短い執筆期間だったにもかかわらず、すばらしい解説をまとめていただいた執筆者の方々にひたすら感謝します。なかでも、IBMのJim Spohrer氏には「メールのみでなく直接会って内容について相談したい」という話

をいただき、今回の解説の執筆者の1人である東工大の木嶋先生とともに豊洲で会合を持ったのが印象に残っています。なにせ、10月15日、大きな被害をもたらした台風26号が接近しているさなかだったのですから、大学の授業も中止になり、帰宅を急ぐようにという指示のなかでの会合で、「システム・サイエンス」という言葉に好意的な意見をいただきほっとしたのを覚えています。そして、それから記事を書いていただき、なんとか間に合いました。

編集委員会のほうでは、デジタルプラクティスの特集とあわせるためにも、落とせない原稿ばかりだったそうです。ひとえに会誌編集委員の方々、学会編集部の方々の努力と叱咤激励のおかげと考えています。次があったらもう少し余裕をもったスケジュールにします。ありがとうございました。

(寺野隆雄／本特集ゲストエディタ)

次号（3月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」弁護士から見た情報処理

情報処理を巡る知的財産権概説／ソフトウェア開発を巡る法律問題／大学における授業／研究活動と著作権法／クラウド／ストレージサービスを巡る法律問題／ソーシャルメディアをめぐる法律問題—大学に関連する具体的リスクを概観する—／大学での研究成果と、技術移転をめぐる法律問題—産学連携の最新事情と、大学の研究成果の帰属および、成果の活用のための技術移転の際に発生し得る問題点を中心に—

解 説：学生スマートフォンアプリコンテスト……………村田嘉利 他
情報理論的暗号技術について……………四方順司 他

学会活動報告：IFIP—情報処理国際連合—近況報告……………齊藤忠夫

教育コーナー：ぺた語義

連 載：鉄道の運行システムにおける情報処理技術の動向／ビブリオ・トーク

コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT好き放題



詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

ITに関する最新情報や研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます。

会員募集中!!



申込／照会先 一般社団法人 情報処理学会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail: mem@ipsj.or.jp

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」55巻2号 掲載広告（五十音順）

インタフェース 表2 日立製作所 表4
 情報処理推進機構 同封

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (51口～)

HITACHI

Inspire the Next

(株) 日立製作所

●●● 賛助会員 (20～50口)

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI

Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10～19口)

Google

グーグル (株)

GREE

GREE (株)

docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3～9口)

NTT Data

NTT データ (株)



NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽天

楽天 (株)

JISA

情報サービス産業協会

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

SONY

ソニー (株)

Panasonic

ideas for life

パナソニック (株)

Plat'Home

ぶらっとホーム (株)